

2025 年度予算 主な子ども施策に関する事業

地方創生事業

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No.13 事業名	U I ターン推進 (若者施策)	2025 年度 予算額	3,006 千円	新規 継続 拡大	

《目指す将来像（姿）》

- 暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 若者の交流を促進し、定住率の向上を図る。

1 事業内容

若者の居場所づくり事業を実施する。

(1) まちづくりワークショップの開催 【1,006 千円】

若者を対象としたまちづくりワークショップを開催する。招聘した外部専門家がワークショップのファシリテートや事業全体のコーディネートを行う。

(2) 若者企画事業の実施 【1,530 千円】

「まちの掲示板リメイクプロジェクト」「アイティ前芝生広場の活用」「空き家物件を活用した拠点整備・交流事業」を継続実施する。

また、ワークショップで出たアイデアをブラッシュアップし、具現化へ導く「KANAU プロジェクト（仮称）」を実施する。

(3) 若者交流イベントの開催 【470 千円】

市内企業に就労している若手社員や大学生を対象とした交流イベントと、豊岡市出身の 21 歳の方を対象とした交流イベントを開催する。

2 事業期間

2021 年度～

3 事業主体

豊岡市



2024 年芝生広場を活用した企画

4 予算額（補助率・負担率等）

3,006 千円（（一社）地域総合整備財団〈ふるさと財団〉の地域再生マネージャー事業補助金 補助率：補助対象経費の 2/3）

担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.18 事業名	ジェンダーギャップ解消推進	2025 年度 予算額	8,941 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習が見直され、お互いを尊重し支え合いながら、いきいきと暮らしている。

《事業目的（趣旨）》

- 「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」（2021 年 3 月策定）に基づき、まち全体のジェンダーギャップの解消に向けた取組みを推進するとともに、ジェンダーギャップ解消の必要性を認識し自分ごととして捉え、行動する市民を増やす。

1 事業内容

(1) ジェンダー視点の主流化推進

専門家の助言を受けながらジェンダー視点のある政策等の実施に向けた取組みを推進する。

(2) 市民の理解拡大と意識・行動変革の促進

地域コミュニティ組織（モデル地区）、教員、幼稚園教諭・保育士などを対象に地域啓発推進アドバイザーによる研修・ワークショップを実施する。

(3) 地域リーダー塾 2025 の開催 【新規】

政治、経済、地域の各分野で活躍する若手(50 歳未満の男女)リーダーを育成

(4) 啓発ツールの活用

- ア オリジナル絵本「みらいへの つばさを ひろげて」の読み聞かせ会を開催
- イ 市民向け意識啓発動画の配布、活用

(5) ジェンダーギャップ解消戦略後期プラン策定 【新規】

2021 年度に実施した「暮らしの中の性別役割分担の実態と意識調査」および「働きやすく働きがいのある職場づくりに向けた事業所調査」と同様の調査を行い、ジェンダーギャップ解消の取組の成果を確認するとともに、後期プランに反映させる。



豊岡みらいチャレンジ塾 2024



豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略体系図

2 事業期間

2019 年度～2030 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

8,941 千円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）

補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】（内線 2741）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.19 事業名	ファミリーサポートセンター	2025 年度 予算額	1,608 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 地域で子育て支援を行うことで、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

《事業目的（趣旨）》

- ファミリーサポートセンターは、仕事の都合などで子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者（おねがい会員）と、支援を行いたい者（まかせて会員）による会員組織である。
- 保育施設等への送迎や、一時的な子どもの預かりなどを有償ボランティアの形態で会員同士が相互援助することにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

1 事業内容

- (1) 会員同士による相互援助活動を行う。活動を円滑に進めるため専任のアドバイザーを配置し、会員のマッチングを行う。
- (2) 会員募集、会員研修、会員交流事業、会報誌の発行を行う。また、SNS を利用した情報発信を行う。

※2017 年 4 月センター設立。同年 7 月から相互援助活動を開始。

2024 年 12 月末会員数：421 人（2023 年度末会員数：380 人）

おねがい会員 256 人

まかせて会員 82 人

どっちも会員 83 人

2 事業期間

2017 年度 ～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,608 千円（国補助金 補助率：基準額の 1/3）

（県補助金 補助率：基準額の 1/3）



担当課名【こども未来課】（内線 2571）

手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
No.20 事業名	ワークイノベーション推進	2025 年度 予算額	5,995 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ありたい姿に向かって、いきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指す。
そのことを可視化することによって、若い女性のU I ターンの増加や定着につなげる。

1 事業内容

(1) 市民の理解拡大

まち全体のジェンダーギャップ解消に取り組むために、まずは職場を切り口とした事業所の取組み状況などをわかりやすく市民に伝え、理解拡大につなげる。

(2) 経営者、管理職等の意識改革、行動改革

ア 豊岡市ワークイノベーション推進会議会員事業所を中心に研修、優良事例発表、意見交換などの機会を設け、事業所が抱える具体的な課題解決を図る。

イ 女性管理職向けに、モチベーションやスキル向上、職場を越えたネットワーク形成を支援するセミナーを開催する。

(3) 従業員のキャリア形成、ネットワーク形成支援

ア 若手経営者、従業員で構成する「ブリッジメンバー」がジェンダー、ジェネレーション、社内、社外のネットワークを形成し、市内事業所のワークイノベーションをさらに推進する。

イ 個別の悩みや問題などを多様な知識・経験を有する専門家、地域で活躍するロールモデルなどに相談できる機会を設ける。



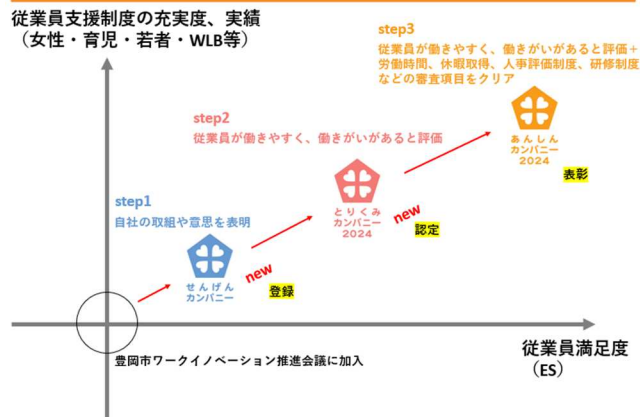
2024 年度豊岡市ワークイノベーション
推進会議総会

(4) 先進事業所の可視化と他の事業所への波及

ア 「働きやすさと働きがい」に関する従業員意識調査を実施し、性別、年代別部門別にアンケート結果を分析することで、課題を把握し、改善する。

- イ 従業員が働きやすく働きがいがあると評価し、制度面なども高い水準を満たす事業所をあんしんカンパニーとして表彰する。
- ウ あんしんカンパニーを目指す過程を3つのステップで支援する。

ワークイノベーション推進の3ステップ



ステップ3：あんしんカンパニー
ステップ2：とりくみカンパニー
ステップ1：せんげんカンパニー

2 事業期間

2018 年～2027 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

5,995 千円（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】（内線 2741）

手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
No.21 事業名	子育て中の女性の就労促進	2025 年度 予算額	6,240 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子育てをしながら、自分らしくいきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- デジタルスキルを活用して生き生きと自分らしく働く女性を増やすとともに、IT分野におけるジェンダーギャップ解消を目指す。
- 子育て支援総合拠点等施設において、子育て中などの働きたい女性の就職・起業支援やキャリア支援に取り組む。

1 事業内容

(1) デジタル人材の育成および出口戦略 【拡大】

ア デジタルマーケティングの基礎から実践を学ぶ学習プログラムとしてオンデマンド方式の講義と対面式スクーリング、希望者を対象とした市内事業所でのインターンシップを提供する。

同時にキャリア相談や起業・就職相談を実施し、デジタルマーケティング人材（10人程度）を育成する。育成した人材については、ハローワーク豊岡、ワークイノベーション推進会議、IPPO TOYOOKA+など関係団体と連携し、就労先の確保や起業に向けたサポートを行う。

イ 女性社員等のリスクリングを目的としたプログラミング教室を実施し、女性プログラミング人材の育成を図る。

ウ 女子中高生を対象に、IT・理系への苦手意識を払拭し、関心を高めるきっかけとなるプログラミング体験キャンプを実施する。

(2) WACCU TOYOOKA（わっく とよおか）内のみらい応援 Room での子育て中などの女性の就職・起業支援

アイティ4階のみらい応援 Roomにおいて、WACCU TOYOOKA（わっく とよおか）内の子どもの一時保育機能を活用しながら、関係機関・団体等と連携して、就職相談をはじめ起業相談、お金と未来の相談、キャリア相談等の開設や関連セミナーの開催など、子育て中などの働きたい女性の就職・起業支援やキャリア支援等に総合的に取り組む。



デジタルマーケティングセミナー2024



プログラミング体験キャンプ 2024

2 事業期間 2021 年度～2030 年度

3 事業主体

豊岡市（協力機関・団体：ハローワーク豊岡、IPPO TOYOOKA、但馬銀行など）

4 予算額（補助率・負担率等）

6,240 千円

(1)内閣府地域女性活躍推進交付金（デジタル人材・起業家育成支援型）

補助率：交付対象額の 3/4

(2)新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）

補助率：交付対象額の 1/2

担当課名【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】（内線 2741）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.39 事業名 コミュニケーション教育推進		2025 年度 予算額	一 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちが、国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキル（異文化理解能力）を獲得し、対等な関係の中での自己主張と他者理解によって様々な人々と積極的に関わっている。

《事業目的（趣旨）》

- 国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキルの獲得を見据え、性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成する。
- ローカルなまちである豊岡でグローバル社会に対応できるコミュニケーション教育を、豊岡にいるからこそ受けることができる特色ある教育として行い、その魅力により若い世代の定住促進・I ターンの増加を図り、地域活性化を推進する。

1 事業内容

- (1) すべての小学校 6 年生と中学校 1 年生において、演劇的手法を取り入れたワークショップ型、双方向型のアクティブラーニングを用いて体験的に学ぶ総合的な取組みを行う。
- (2) すべての学年において、コミュニケーション能力の育成の視点を取り入れた関わりを土台にしながら日常の生活や学習における指導を行い、コミュニケーション能力の育成を図る。また、外部講師を招聘し、指導方法等について指導を受け、授業の充実を図る。

2 事業期間

2015 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

学校振興事業費の中で一体的に取り組む。

担当課名【学校教育課】（内線 2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる			
No.41	事業名	非認知能力向上対策	2025 年度 予算額	5,588 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 「やり抜く力、自制心、協働性」などの非認知能力を高めることで、子どもたちが「自立した大人」へと成長している。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡市としてこれまでから実施している演劇的手法を活用し、小学校低学年の時期から、非認知能力を高めていくことを目指す。

1 事業内容

(1) 非認知能力向上のための演劇ワークショップの実施

ア 市内の小学校1・2年生を対象に、平田オリザ氏監修、わたなべなおこ氏作成のプログラムにより、演劇ワークショップを実施する。

イ 指導は、専門性を持つ外部講師を活用する。

(2) 教職員は、授業参観および事後研修（振り返り）を行うことで非認知能力の理解を深め、日々の授業・学校行事等に活用する。

2 事業期間

2019 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

5,588 千円（ガバメントクラウドファンディング積立金等を活用）

担当課名【学校教育課】（内線2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.42 事業名	英語遊び保育推進	2025 年度 予算額	1,801 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 外国の言葉や文化に興味を持つ子が増えている。
- 喜んで人と関わろうとする子が増えている。
- 自己肯定感を持てる子が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 将来、豊岡の子どもたちが世界の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちや外国の言葉や文化に興味を持とうとする気持ちの素地を養う。

1 事業内容

(1) 英語遊び指導員による英語遊び保育巡回訪問の実施

英語遊び指導員が各園を訪問し、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う（オールイングリッシュの）英語遊び指導を実施する。

ア 実施対象 市内の幼稚園・保育園・認定こども園（4・5歳児クラス）

イ 実施回数 年間15回程度（2週間に1回程度）

ウ 時間 5歳児・40分、4歳児・30分

エ 指導者 英語遊び指導員 4名

(2) 「子どもの理解を深める研修会」の実施

指導員の指導向上のための研修会を実施する。

(3) 英語遊び通信の発行

保護者および職員向けの英語遊び通信を発行する。

2 事業期間

2015～2016 年度 6モデル園で先行的に実施

2017 年度～ 市内の公・私立園に展開実施

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,801 千円



みんなで Hello !

担当課名【幼児育成課】（内線 2531）

手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している		
No.43	事業名	出会い機会創出 (はーとピー・民間イベント支援・運営経費)	2025 年度 予算額	3,537 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）で出会ったカップルの成婚数が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- 直営でのマッチングイベント「はーとピー」を継続するとともに、民間でのマッチングイベント実施を支援することにより、婚活イベントの回数を増やし、より多くの出会いを創出する。

1 事業内容

(1) マッチングイベント「はーとピー」の開催 【1,885 千円】

- ア マッチングイベント「はーとピー」（20 名程度/回）の開催
- イ ホームページや地域情報誌、Instagram でイベント周知
- ウ イベントにコミュニケーションワークショップ等を取り入れ交流を促進し、マッチングの増加を図る。

(2) 民間でのマッチングイベント開催支援 【150 千円】

- マッチングイベントを実施したい市内の店舗を募り、1 回につき 5 万円を上限に開催の補助を行う。

(3) 運営経費 【1,502 千円】 【拡大】

- ア 地域プロジェクトマネージャー（会計年度任用職員）による持続可能な結婚支援体制の検討 ※人件費は含まない
- イ アイティ 4 階「みらい応援 Room」に結婚支援事業の拠点を移設
- ウ 結婚支援事業のホームページをリニューアル

※事業実績

	開催回数	参加者数	カップル成立	成婚数
2024 年度	10 回	211 人	33 組	2 組
2023 年度	12 回	205 人	35 組	8 組
2022 年度	12 回	267 人	56 組	6 組

※2024 年度は 1 月末現在

【累計】2013～2024 年度（1 月末現在）

138 回開催、参加者 3,196 人、588 カップル成立、成婚 70 組

2 事業期間
2013 年度～

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
3,537 千円



担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している			
No.44 事業名	お見合い推進 (縁むすびさん)		2025 年度 予算額	2,024 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- お見合い事業に登録する方が増え、成婚数が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- 市民がボランティア仲人「縁むすびさん」としてご縁を取り持つことにより、成婚数の増加を目指す。

1 事業内容

(1) お見合い支援（縁むすびさん） 【1,404 千円】

縁むすびボランティアおよび事務局で1対1および複数人のお見合いをセッティングする。

※2024 年度事業実績（2025 年 1 月末現在）

- ① 縁むすびさん 66 人（男性 26 人、女性 40 人）
- ② 登録結婚希望者 348 人（男性 230 人、女性 118 人）
- ③ お見合い数 延べ 311 回
- ④ 成婚実績 1 組

(2) ボランティアモチベーション向上支援 【620 千円】

ア 縁むすびボランティアが成婚に導いた際に報酬金を支給する。

イ 縁むすびボランティア同士の交流会を開催。講師を招聘し模擬見合い等を行いながら意見交換を行い、ボランティアのモチベーションを高める。

2 事業期間

2019 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,024 千円



担当課名【地域づくり課】（内線2781）